

令和7年度岩手県政策評価委員会

(開催日時) 令和8年2月9日(月) 10:00~11:00

(開催場所) エスポワールいわて 3階 特別ホール

1 開 会

2 委員紹介

3 議 事

- (1) 委員長及び副委員長の選任について
- (2) 各専門委員会委員の指名について
- (3) 各専門委員委員長及び副専門委員長の選任について
- (4) 令和7年度政策評価等の実施状況及び各専門委員会の開催状況について(報告)
- (5) 令和7年度政策評価結果等の政策等への反映状況について(報告)
- (6) 令和8年度の各専門委員会の開催予定について
- (7) その他

4 閉 会

出席委員

武藤由子委員、阿部伸史委員、市島宗典委員、五日市知香委員(Web)、
伊藤幸男委員、岩間妙子委員、迫井裕樹委員、島田悦作委員、菅原常彦委員、
杉田早苗委員、竹村祥子委員、瀨上邦彦委員、堀籠義裕委員、松木佐和子委員、
松林由里子委員、森直子委員(Web)、八重樫健太郎委員、山本英和委員

欠席委員

和川央委員、谷本真佑委員

1 開 会

<事務局から開会宣告>

〔事務局から委員20名中18名の出席により会議が成立する旨の報告〕

○本多政策企画部参事兼政策企画課総括課長(以下「本多参事」という。) 先日委員の皆様には今期委員会の辞令書をお送りさせていただいたところでございますが、今期の任期につきましては、条例の規定によりまして、令和8年2月1日から令和10年1月31日までの2年間となりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、委員会の開会に当たりまして、岩手県の小野政策企画部長より御挨拶申し上げます。

○小野政策企画部長 おはようございます。岩手県の政策企画部長を務めております小野でございます。よろしくお願いいたします。政策評価委員会の開会に当たりまして、一言御挨拶申し上げます。

本日はお忙しい中、また寒い中、政策評価委員会に御出席をいただきましてありがとうございます。また、今年度は政策評価委員会の委員の皆様のご改選期といったこととございまして、委員の皆様におかれましては20名の皆様のうち14名の皆様につきましては引き続き、また6名の方々につきましては新たにといった形で委員をお引き

受けいただきました。重ねて御礼を申し上げます。

さて、岩手県の政策評価制度でございますけれども、平成16年度に政策評価条例が制定されまして、以降制度として正式に動いてまいりました。政策評価条例の中では事務事業評価、政策評価、それから公共事業評価、大規模事業評価と大きく4つにつきまして評価、このような形で評価委員会の皆様に様々議論をいただきながら評価を進めてきているところでございます。また、その評価の背景と申しますか、基準になります岩手県の県民計画につきましては、2019年から2028年といったこととございまして、長期ビジョン全体は10年の計画のうち7年目となっております。また、具体的な事業、施策等を盛り込んでおります4年間のアクションプランにつきましては、現在第2期のアクションプランが3年目といったことで、来年度が第2期アクションプランの最終年という状況となっております。県では、この県民計画に基づきまして政策や施策、各事業について取り組んでいるところでございますけれども、政策評価につきましては効果的かつ効率的な行政を推進するといったことで大変重要な役割を担っているものと考えております。

今年度の政策評価専門委員会につきましては、第2期アクションプランの令和6年度の各種指標の達成状況に加えまして、社会経済状況等の変化を踏まえまして政策評価について様々な観点から貴重な御意見を頂戴し、政策評価レポートを昨年中に取りまとめ、議会にも報告し、県民の皆様にも発信と申しますか、見ていただいているところでございます。

また、公共事業評価専門委員会の方につきましては、ほ場整備、それから農林道、道路、河川など幅広い分野の公共事業11地区の再評価、それから大規模事業評価専門委員会の方では道路、河川、4地区の再評価に加えまして、中山の園整備事業、それから県立農業大学校の施設整備事業の事前評価につきまして、専門的な見地から様々御意見をいただいたところでございます。

通常ですと4月1日から始まるのですがけれども、この評価委員会につきましては2月1日から新しい体制の皆様をお願いすることになりますけれども、この委員会の皆様の御意見を様々頂戴しながらPDCAサイクルをしっかりと回していくといった観点で、県民の皆様の幸福度を向上させるような県民計画をしっかりと進めていくことができますよう、県といたしまして努めてまいりたいと考えておりますので、皆様からの様々な御意見、御提言等いただければと思います。

どうぞよろしくお願ひいたします。

2 委員紹介

○本多参事 では、続きまして、本日は今期委員会の委員改選後初めての委員会の開催となりますので、委員の皆様御紹介をさせていただきたいと思ひます。紹介につきましては、私の方から皆様の所属、氏名を読み上げる形で進めさせていただきたいと思ひますけれども、順序につきましてはお手元に配付してあります名簿のとおり五十音順で御紹介申し上げたいと思ひます。

初めに、日本公認会計士協会東北会岩手県会の阿部伸史委員でございます。

○阿部伸史委員 よろしくお願ひします。

○**本多参事** 次に、白鷗大学法学部の市島宗典委員でございます。

○**市島宗典委員** よろしくお願ひいたします。

○**本多参事** 次に、株式会社パイロットフィッシュの五日市知香委員でございますが、本日ウェブで御出席いただいております。

○**五日市知香委員** よろしくお願ひいたします。

○**本多参事** 次に、岩手大学農学部の伊藤幸男委員でございます。

○**伊藤幸男委員** よろしくお願ひします。

○**本多参事** 次に、一般社団法人岩手県建築士会の岩間妙子委員でございます。

○**岩間妙子委員** よろしくお願ひします。

○**本多参事** 次に、八戸工業大学工学部の迫井裕樹委員でございます。

○**迫井裕樹委員** 迫井です。よろしくお願ひします。

○**本多参事** 次に、岩手県立大学総合政策学部の島田悦作委員でございます。

○**島田悦作委員** 島田と申します。よろしくお願ひいたします。

○**本多参事** 次に、公益社団法人日本技術士会東北本部岩手県支部の菅原常彦委員でございます。

○**菅原常彦委員** 菅原でございます。よろしくお願ひいたします。

○**本多参事** 次に、岩手大学農学部の杉田早苗委員でございます。

○**杉田早苗委員** 杉田です。よろしくお願ひします。

○**本多参事** 次に、浦和大学社会学部の竹村祥子委員でございます。

○**竹村祥子委員** よろしくお願ひいたします。

○**本多参事** 次に、岩手大学理工学部の谷本真佑委員でございますが、本日御欠席となっております。

次に、岩手大学農学部の濱上邦彦委員でございます。

○**濱上邦彦委員** 濱上です。よろしくお願いいたします。

○**本多参事** 次に、岩手県立大学総合政策学部の堀籠義裕委員でございます。

○**堀籠義裕委員** よろしくお願ひします。

○**本多参事** 次に、岩手大学農学部の松木佐和子委員でございます。

○**松木佐和子委員** よろしくお願ひいたします。

○**本多参事** 次に、岩手大学理工学部の松林由里子委員でございます。

○**松林由里子委員** よろしくお願ひいたします。

○**本多参事** 次に、岩手大学農学部の武藤由子委員でございます。

○**武藤由子委員** よろしくお願ひします。

○**本多参事** 次に、一般財団法人機械振興協会経済研究所の森直子委員でございますが、本日はウェブにて御出席いただいております。

○**森直子委員** よろしくお願ひいたします。

○**本多参事** 次に、日本公認会計士協会東北会岩手県会の八重樫健太郎委員でございます。

○**八重樫健太郎委員** 八重樫と申します。よろしくお願いいたします。

○**本多参事** 次に、岩手大学理工学部の山本英和委員でございます。

○**山本英和委員** 山本です。よろしくお願ひします。

○**本多参事** 最後に、岩手県立大学宮古短期大学部の和川央委員でございますが、本日御欠席となっております。

以上となります。委員の皆様どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

次に、本日の配付資料を確認させていただきます。本日の資料につきましては、次第、それから委員名簿、座席表のほか、資料1として令和7年度政策評価等の実施状況及び各専門委員会の開催状況、また資料2として令和7年度政策評価結果等の政策等への反映状況の概要、資料3として反映状況報告書の本編、冊子、つづりになっていると思います。資料4として、令和8年度の各専門委員会の開催予定。また、参考資料として岩手県の評価システムの概要と配付してございます。ウェブで御参加いただいで

いる委員の皆様も含めまして御確認いただきまして、不足等がございましたら事務局の方までお申出いただければと思います。よろしいでしょうか。

「はい」の声

3 議 事

(1) 委員長及び副委員長の選任について

○**本多参事** それでは、議事の方に入りたいと思います。条例の規定によりまして、会議の議長は委員長が務めることとされておりますが、本日は委員改選後初めての会議となりますので、委員長が決まりますまでの間、暫時政策企画部の西野理事兼副部長が議長役を務めさせていただきたいと存じますので、よろしく願いいたします。

○**西野理事兼政策企画部副部長（以下「西野理事」という。）** 政策企画部の西野でございます。暫時議長を務めさせていただきますので、よろしく願いいたします。以降着座にて失礼いたします。

それでは、議事の(1)、委員長及び副委員長の選任について入ります。条例の規定によりまして、委員長及び副委員長の選任は委員の互選によることとされております。互選の方法について委員の皆様から御意見ありましたらお願いいたします。

「なし」の声

○**西野理事** 特に御意見がないようであれば、事務局からの指名推選とさせていただきたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。

「はい」の声

○**西野理事** ありがとうございます。

それでは、事務局からの推薦をお願いいたします。

○**田高政策企画部政策企画課評価課長（以下、「田高評価課長」という。）** 事務局の政策企画部政策企画課の田高と申します。どうぞよろしくお願いいたします。すみません、座って進めさせていただきます。

事務局といたしましては、委員長にはこれまで本委員会の副委員長及び公共事業評価専門委員会の専門委員長を務めていただきました武藤由子委員、副委員長にはこれまで政策評価専門委員会の委員を務めていただきました和川央委員を推薦いたします。

なお、和川委員は本日欠席されておりますが、あらかじめ御承諾をいただいております。よろしくお願ひします。

○**西野理事** それでは、ただいまの事務局からの推薦につきまして御意見、御質問等ございませんでしょうか。

「なし」の声

○西野理事 それでは、ないようですので、事務局からの推薦のとおり決定させていただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

武藤委員長におかれましては、それでは委員長席の方に御移動をお願いいたします。

それでは、以降の議事進行につきましては武藤委員長をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

○武藤由子委員長 おはようございます。岩手大学の武藤と申します。今御指名いただきましたように委員長を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日はお寒いところ、また年度末に向けてお忙しいところ、委員の皆様、また岩手県の関係課の皆様お集まりいただきまして、ありがとうございます。

御存じのとおり、ふだんは3つの委員会に分かれましてそれぞれ議論しているところでもありますけれども、今日は年に1回ですね、全員が集まる機会ということで、概要にはなるかと思えますけれども、県の取組の全体のこれまでの報告と今後の計画について伺える貴重な機会だと考えております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

（2）各専門委員会委員の指名について

○武藤由子委員長 それでは、議事（2）、各専門委員会委員の指名についてに入ります。本委員会は、条例の規定により、政策評価、公共事業評価及び大規模事業評価の3つの専門委員会が設置されています。各専門委員会に属すべき委員については、条例の規定により委員長が指名することとされておりますので、私から指名させていただきます。

事務局から資料を配付しますので、少々お待ちください。

（岩手県政策評価委員会委員名簿（専門委員会別、五十音順）を配付）

○武藤由子委員長 ただいま配付した資料に記載のとおり、各専門委員会の委員を指名させていただきたいと考えておりますけれども、御異論ございませんでしょうか。

「異議なし」の声

○武藤由子委員長 それでは、御意見ございませんようですので、各専門委員会の委員を決定します。どうぞよろしくお願いいたします。

（3）各専門委員長及び副専門委員長の選任について

○武藤由子委員長 それでは、続きまして議事（3）、各専門委員長及び副専門委員長の選任についてです。これまで改選期における委員会、直近では2年前の令和6年2月開催となりますが、これまではこの委員会が終了した後に別会場で各委員が別れて専門委員会を開催しまして、各専門委員長、副専門委員長を選任していました。ですけれども、委員会運営を効率化するため、この場で各専門委員会の専門委員長、副専門委員長を順番に選任させていただきます。専門委員長及び副専門委員長の選任は、委員の互選によることとされておりますが、互選の方法について委員の皆様から御意見ご

ございますでしょうか。

「なし」の声

○武藤由子委員長 御意見は特にないようですので、事務局からの指名推選とさせていただきます。よろしくお願いいたしますけれども、よろしいですか。

「はい」の声

○武藤由子委員長 ありがとうございます。それでは、事務局から各専門委員会の専門委員長、副専門委員長の推薦をお願いいたします。

○田高評価課長 事務局の方から政策評価専門委員会、公共事業評価専門委員会、大規模事業評価専門委員会の順にそれぞれ専門委員長、副専門委員長を推薦させていただきます。

初めに、政策評価専門委員会についてでございますが、専門委員長には和川央委員、副専門委員長には、前期も副専門委員長を務めていただきました竹村祥子委員を推薦いたします。

なお、和川委員にはあらかじめ御承諾いただいております。どうぞよろしく願いいたします。

○武藤由子委員長 ありがとうございます。ただいまの事務局からの推薦について、政策評価専門委員会の委員の皆様、御意見ございませんでしょうか。

「なし」の声

○武藤由子委員長 ありがとうございます。それでは、事務局からの推薦のとおり決定させていただきます。

和川専門委員長は本日欠席ですが、竹村副専門委員長どうぞよろしく願いいたします。

次に、公共事業評価専門委員会について、事務局から推薦をお願いします。

○田高評価課長 公共事業評価専門委員会につきましては、専門委員長には、前期も専門委員長を務めていただきました武藤由子委員、副専門委員長には伊藤幸男委員を推薦いたします。よろしく願いいたします。

○武藤由子委員長 ただいまの事務局からの推薦について、公共事業評価専門委員会の委員の皆様、御意見ございますでしょうか。

「なし」の声

○武藤由子委員長 それでは、事務局からの推薦のとおり決定させていただきます。専門委員長は、引き続き私が務めさせていただきます。伊藤副専門委員長、どうぞよろしくお願いたします。

次に、大規模事業評価専門委員会について、事務局から推薦をお願いします。

○田高評価課長 大規模事業評価専門委員会につきましては、専門委員長には、前期で副専門委員長を務めていただきました山本英和委員、副専門委員長には濱上邦彦委員を推薦いたします。よろしくお願いたします。

○武藤由子委員長 ただいまの事務局からの推薦について、大規模事業評価専門委員会の委員の皆様、御意見ございますでしょうか。

「なし」の声

○武藤由子委員長 それでは、事務局からの推薦のとおり決定させていただきます。山本専門委員長、濱上副専門委員長、どうぞよろしくお願いたします。

以上のとおり、各専門委員会の専門委員長、副専門委員長を決定しますので、皆様どうぞよろしくお願いたします。

（４）令和７年度政策評価等の実施状況及び各専門委員会の開催状況について（報告）

○武藤由子委員長 それでは、続きまして報告事項に入ります。議事（４）、令和７年度政策評価等の実施状況及び各専門委員会の開催状況について、事務局から説明をお願いします。

〔参考資料及び資料１に基づき説明〕

○武藤由子委員長 ありがとうございます。ただいまの説明に御質問等ございますでしょうか。

「なし」の声

（５）令和７年度政策評価結果等の政策等への反映状況について（報告）

○武藤由子委員長 ありがとうございます。それでは、続きまして議事（５）、令和７年度政策評価結果等の政策等への反映状況について、事務局から説明をお願いします。

〔資料２及び資料３に基づき説明〕

○武藤由子委員長 ありがとうございます。ただいまの説明に委員の皆様から何か御質問ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

「なし」の声

(6) 令和8年度の各専門委員会の開催予定について

○武藤由子委員長 それでは、続きまして議事(6)、令和8年度の各専門委員会の開催予定について、事務局から説明をお願いします。

〔資料4に基づき説明〕

○武藤由子委員長 ありがとうございます。ただいまの説明に御質問等はございますでしょうか。よろしくをお願いします。

○島田悦作委員 岩手県立大学の島田です。

御説明ありがとうございました。私の方から気になった点を1つお伺いしたいのですが、2ページ目の審議案件、公共事業評価専門委員会の開催予定についてというページなのですが、ちょっとよく分からないので、教えていただきたいのですが、(6)ですかね、地域連携道路整備事業(地域密着型)ということで、主要地方道花巻大曲線笹峠ですか、こちら再々々々評価と結構再評価が重なって、何度も評価されているというようなことなのかなと思います。これどういった事情なのか教えていただければと思います。

○田高評価課長 公共事業評価、個別の事案にかかわらず、結構事業期間長くかかるものがございまして、再評価につきましては最初に10年経過した際に再評価行いまして、それから5年ごとにまた再評価、再評価ということで継続して評価をしていくことになりまして、再々々々といったような形で長くかかるものについては評価を行っていくといったような形になってございます。

御質問のありました(6)の花巻大曲線でございますが、秋田県との境と申しますか、またぐ道路になっておりまして、秋田県との調整等も必要になりまして、ちょっと期間がかかっているといったような状況になってございます。

○島田悦作委員 分かりました。ありがとうございます。

○武藤由子委員長 ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

「なし」の声

(7) その他

○武藤由子委員長 委員の皆様から全ての議事についてあまり御意見出ておりませんが、少し遡っても聞きそびれたこととか大丈夫ですか、ございませんか。

松林委員をお願いします。

○松林由里子委員 資料4の各専門委員会の開催予定について、政策評価委員会の開催予定はスケジュールの表があるのですが、公共事業評価専門委員会とか、大規模事業評価専門委員会でもイメージ図みたいなのというのは作れるのでしょうか。

○田高評価課長 公共、大規模についても評価の流れを示した図というのはありますので、もし必要があれば皆様にメールの方で送付させていただきたいと思います。

○松林由里子委員 どちらにあるとか教えていただいて、リンクとか教えていただければ見たりもするのですけれども、もしあるのだったらちょっとイメージつかんでおこうかなというのがありました。

○田高評価課長 後ほど、資料の方をメール等で御送付させていただきたいと思います。

○武藤由子委員長 ありがとうございます。ほかにもございますでしょうか。ウェブ参加の委員の皆様もありがとうございますでしょうか。大丈夫でしょうか。

「なし」の声

○武藤由子委員長 そうしましたら、ちょっと私から1つお伺いしたいと思います。すみません、ちょっと議事が1つ遡ってしまうのですけれども、よろしいですか。議事（5）の令和7年度政策評価結果等の政策等への反映状況についての資料2に関するところなのですが、来年度の政策、事業等への反映ということで御報告いただきましたけれども、これまでの委員会の議論等を踏まえての総合的に判断して決めていただいたと思いますが、政策分野10個に分かれておりますけれども、総合的に判断されて、強弱つけた予算配分をしていただいたのではないかなと思うのですが、この10個の分野の関連といたしますか、その予算配分の強弱とか全体的にどのようなバランスといたしますか、考えられているのかということをご簡単に御説明いただければと思います。多分便宜的に10個に分かれていますけれども、恐らく相互に関係するもので、どの辺を牽引していく分野なのかとか考えていらっしゃるのかなと思います。

はい。

○小野政策企画部長 今10の政策分野のウェイトづけのような形になるかと思うのですけれども、お話しいただきました。この10の政策分野につきましては、今の県民計画、県民一人一人の幸福の向上につながるような政策を打っていかうといったことで、幸福実感がどういう要素で得られるかということをご有識者の皆様に研究していただいた結果を踏まえて、今の県民計画、この10の政策分野を立ち上げたものです。ですので、この12の要素があったのですけれども、これを幾つかまとめまして、例えば「健康・余暇」という形で幾つかの幸福に関する要素を一つにまとめたということなのですけれども、それぞれについて毎年度ウェイトをつけているかということ、つけておりません。

では、どういう形で毎年度の予算を組み上げているかということなのですけれども、今の県民計画の第2期アクションプランにつきましては、特に人口減少対策についてしっかり取組を進めていかうということがこの4年間の大きなテーマになっておりまして、そのために分野横断型の切り口、重点項目といったものなのですけれども、人口

減少対策、それからDXの推進、GXの推進、そして安心・安全な地域づくりといったことで、この4つを10の分野をまたがる形にはなるのですけれども、重点項目と置いております。ですので、政策分野ごとのウエートはつけておりません。その中で、今申し上げた4つについて、特にこの4年間は集中的に取り組を進めていこうという形で予算編成、事業化を行っているところでございます。

以上です。

○武藤由子委員長 ありがとうございます。よく分かりました。

ほかに委員の皆様から御意見、御質問ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

「なし」の声

○武藤由子委員長 ありがとうございます。それでは、以上で全ての議事を終了いたします。委員の皆様御協力ありがとうございました。

それでは、進行を事務局へお返しいたします。

○本多参事 武藤委員長ありがとうございました。

4 閉 会

○本多参事 それでは、以上をもちまして令和7年度岩手県政策評価委員会を終了いたしますが、委員の皆様におかれましては、これから2年間政策評価委員会委員といたしまして各専門委員会での審議等をお願いすることとなります。それぞれの専門的知見等を踏まえまして、幅広い視点から御意見、御提案を賜りたいと存じますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は大変ありがとうございました。